

第15回理事会・第9回社員総会 議決

平成27年度

事業報告書

平成27年4月1日から

平成28年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：第二回「聴いて触れる雅楽（登別雅楽演奏会）」】

- a. 事業の趣旨：本事業は、北海道道庁交付金事業として第二回目の登別市雅楽演奏会となる。地域市民の雅楽に対する理解促進を図ると共に、教育機関での体験学習を通し青少年の情操教育の一環とする。
- b. 日 時：平成27年11月21日（土）、22日（日）
- c. 場 所：登別市民会館大ホール
- d. 対 象：一般600名
- e. 出 演：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル
特別出演：安齋省吾氏（元宮内庁楽部首席楽長）
- f. 内 容：11月21日（土）登別市立緑陽中学校の演奏会と体験
11月22日（日）雅楽演奏会
 - ・ 楽器紹介
 - ・ 管 絃「壺越調音取」
「迦陵頻急」「胡飲酒破」
 - ・ 舞 楽「陵王」「青海波」
- g. 主 催：聴いて触れる雅楽実行委員会
- h. 後 援：登別市、登別市教育委員会、登別市文化・スポーツ振興財団、登別商工会議所、登別観光協会、登別市文化協会、北海道新聞室蘭支社、室蘭民報社
- i. 反 響：緑陽中学校では、土曜授業として実施され、教育委員会参与や父兄も参加され、日本の伝統芸術を目の前で見られることは、子供たちの宝になるであろうとの反響であった。
 - ・ 聴いて触れる雅楽は424名の参加で、登別市民会館とし

ては大成功の演奏会であったとの反響であった。

- ・安齋先生が地元紙に写真付きで掲載されてから、毎日のように問い合わせの電話をいただく。
- ・仙台に出張中の登別市長も駆けつけて、2部の舞楽を鑑賞することができた。
- ・参加者からは、心が洗われるようだという反響をいただき、次回の開催の期待も寄せられた。
- ・11月23日の室蘭日報で演奏会の記事が掲載された。

【事業名2：千葉県立美術館「香取神宮—神々を彩どる美」雅楽演奏会】

a. 事業の趣旨：千葉県文化財保護条例制定60周年記念、特別展「香取神宮—神に捧げた美」が開催されることになり、当アンサンブルによる新春雅楽演奏会が実施された。

b. 日時：平成28年1月9日（土）13：30～

c. 場所：千葉県立美術館

d. 対象：一般200名（抽選）

e. 出演：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル

特別出演：安齋省吾師（元宮内庁楽部首席楽長）

f. 内容：管絃「平調音取」「越殿楽」「陪臚」

舞楽「陵王」「青海波」

g. 主催：千葉県立美術館

h. 協力：香取神宮、香取市、香取市教育委員会

i. 反響：この演奏会は千葉県立美術館が主催し、千葉県文化財保護条例制定60周年の記念特別展「香取神宮—神に捧げた美—」の一環として実施されたものである。

会場には200席が設けられたが応募者はその4倍以上（800名超）であり、美術館側も大変喜ばれた。

また、ホール前には当アンサンブルで用意した花車も飾られ、新春らしい華やかさも演出された。

今回の公演は、先の登別公演に引き続き、元宮内庁楽部首席楽長・安齋省吾師を客演としてお招きし、管絃では鞆鼓、舞楽では龍笛の演奏をしていただいた。

② 雅楽に関する講演会

【事業名1：第五回「雅楽と国際文化交流」】

a. 事業の趣旨：第一部では、元外交官である横田淳氏より「外交と文化交流」をテーマにご講演いただき、国際社会におけ

る日本の役割について認識を高める。

また、2016年日本・ベルギー修好150周年のプレ記念講演とし、日本とベルギー両国の友好親善の一助とする。

第二部では、十二音会による雅楽演奏を通し、千数百年に渉る伝統保存文化である雅楽の粋を紹介する。

- b. 日 時：平成27年4月11日（土）14時～17時
- c. 場 所：紀尾井小ホール（東京、四谷）
- d. 対 象：一般250名
- e. 入場料：5,000円
- f. 内 容：講演と雅楽演奏
- g. 講 師：横田 淳氏（元在ベルギー日本国特命全権大使）
- h. 講演テーマ：「外交と文化交流」
- i. 雅楽演奏：管絃と舞楽（十二音会 楽師12名）
- j. 演 目：管絃「双調音取」「酒胡子」「鳥急」、楽器紹介、舞楽「貴徳」
- k. 反 響：定員250名のところ221名（招待者53名を含む）の

入場者があり、スタッフ関係者と合わせて、ほぼ満席の状態であった。当日券も7枚が販売され、読売新聞での紹介や他団体の雅楽公演でのチラシ配布によって、雅楽に関心のある方々の参加が多かった。

招待者も大使館関係者、外務省関係者、政界、財界、音楽関係者といった幅広い方々を招待することによって、より広報活動に効果を上げることができた。

- ・横田元大使の講演は、日本の外交における文化交流の意義をパワーポイントを使用され、具体的な数字で解説いただき、よく理解することができた。講演をとおして、文化交流が外交の大切な役割を担うことの認識を深めることができた。
- ・十二音会による演奏は、千数百年に渉る日本の伝統文化である雅楽を多くの人に堪能してもらうことができた。また、舞楽のゆっくりした動きや舞の優雅さ、装束の美しさといった日本文化の特異性や素晴らしさを再確認してもらえた。
- ・当初の願いとした、2016年日本ベルギー修好150周年イベントとして、政財官各界よりの招待者はじめ参加者の方々の反応が良かった。特に、来年1月にブリュッセル・エグモント宮にて開催される両国政府によるオープニング式典に北之台雅楽アンサンブルが招聘され、雅楽演奏されることへの評価が高く、期待の声が多く寄せられた。

- ・運営面では、来賓からのご挨拶を長くいただくことができ、予定していた終了時間が多少延びることになった。もう少し、余裕を持った時間配分が必要であった。
- ・また、講演者と来賓の通訳の声が聞き取りにくかったという意見もあった。

【事業名2：第六回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：第一部では、米国ボストン・バークリー音楽大学において、多くの若い優秀なジャズ演奏者を育成され、世界的にも著名なタイガー大越教授をお招きし、国境を越えた音楽交流に関するトークと、その豊かな音楽性と高度なテクニックによるジャズ・トランペットの演奏を披露する。
- 第二部では、十二音会による雅楽演奏を通し、千数百年に渉る伝統保存文化である雅楽の粋をご紹介させていただきます。
- b. 日 時：平成27年11月8日（日）14時～17時
- c. 場 所：ヤマハホール（東京、銀座）
- d. 対 象：一般300名
- e. 入場料：5,000円
- f. 内 容：トランペット演奏と雅楽演奏
- トランペット奏者：タイガー大越氏
（米国バークリー音楽大学教授、
2014年外務大臣賞受賞）
- 雅楽演奏：十二音会
：楽器紹介
：管 絃「盤渉調音取」「越殿楽」「千秋楽」
：舞 楽「陵王」
- 特別出演：大窪永夫氏（前・宮内庁楽部首席楽長）
- g. 後 援：日米協会
- h. 反 響：政官財界から多数のご来賓をお迎えしての公演となり、多くの方々からジャズと雅楽とのコラボは、初めての体験であったが、楽しいひと時を過ごさせていただいたという反響が多く、賞賛の言葉をいただいた。
- ・第一部のジャズ演奏では、阪神淡路大震災から20年の節目にあたり、自身も芦屋の自宅にて被災したタイガー先生は「明日に向かって、時の流れと共に今を生きる」というコンセプトのステージを展開。現代ジャズ調にアレンジし

た「かあさんの歌」でスタートし、ピアノのクリヤ・マコト氏をゲストに迎え合計6曲を演奏された。

- ・第二部は雅楽演奏。「雅楽と国際文化交流」公演には今回で3回目となる十二音会が出演した。元・宮内庁楽部首席楽長の安齋省吾先生の楽器紹介に続き、管絃は盤渉調の曲を3曲、舞楽は「陵王」を演奏した。ことに舞人として前・宮内庁楽部首席楽長の大窪永夫先生が特別出演してくださった。
- ・来賓からは「久しぶりに緊張感に満ちたコンサート」「Tigerさん、クリヤさんの真摯な音楽、雅楽の素晴らしさに心を打たれた」「素晴らしい文化の香りと和気あいあいとした会話を堪能した」など、タイガー先生の演奏、クリヤさんのピアノ、十二音会の楽と舞、本当に素晴らしい東西の文化交流であった。
- ・久しぶりに緊張感に満ちたコンサートであった。トランペットひとりで約1時間を吹き通すというのは体力的にも音楽的にも（特に即興を主体とする場合）大変なことなのです。タイガー氏は毎日ヨガで体力と精神力を鍛えているとのことで、その成果によるものと思われます。また、十二音会の奏者の皆さんも前日の5時間に及ぶ大舞台の後での出演、ご苦労さまでした。初めて間近で楽器の説明を伺い舞楽を鑑賞させていただき、奏者の方々が想像以上に若くて驚きでした。とかく伝統芸術は後継者に悩まされているようですが、こと雅楽に関しては安泰なように感じました。

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名1：米国ボストン日本まつり雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：ボストン日本まつりは、現地日系企業、邦人団体が主催となり、日本文化を紹介する定例イベントであり、雅楽を通して日米両国の相互理解、友好親善に貢献する。
- b. 日 時：平成27年4月26日（日）
- c. 開催場所：ボストン・コモン（全米最古の都市公園）
- d. 来場者：3万人を超える来場者であった。
- e. 内 容：舞 楽「迦陵頻」
- f. 渡航人員：舞人1名

- g. 主 催：日系起業家ネットワーク、在ボストン日本国総領事館、ボストン日本協会、ボストン日本人会、昭和ボストン他
- h. 後 援：日本航空、北米日産自動車、ボストン・レッドソックス他
- i. 反 響：屋外ステージにて、約千名の観衆に舞楽迦陵頻を披露し、「お祭りの格を引き上げる素晴らしい公演、日本文化を垣間見ることの出来る有意義な時間であった」と高い評価を頂いた。
 - ・他の出し物には日本らしいパフォーマンスがなかったため、舞楽の演奏は一際目立ち、最前列にカメラマン、あるいはカメラを持った大勢の人達で大きな壁が出来るほどに人が集まった。
 - ・舞楽を鑑賞された人の多くは、雅楽を見たことがなかったので、とても感動したとの感想が多かった。
 - ・また本年の行事を機に、毎年4月にボストン・コモンで開催する恒例行事としての許可をボストン市から頂くことになった。

【事業名2：オーストラリアにおける雅楽紹介】

予定していたカウラ桜まつり事業は、主催者側の内容の縮小に伴い、参加する必要がなくなった。

また、シドニー夏祭り事業に関しては、開催日が日本国内の事業と重なったため、参加することができなかった。

【事業名3：2016年ベルギー公演】

- a. 事業の趣旨：日本・ベルギー修好150周年オープニング記念式典（日本政府公式行事）に当該アンサンブルが招聘され、雅楽演奏を実施する。同時期に、予てより企画していた「雅（Miyabi）公演」及び、ブリュッセル日本人学校における雅楽鑑賞会・雅楽体験教室を実施する。両国の友好親善に貢献することを目的とし実施する。
- b. 渡航期間：平成28年1月17日成田発～25日成田着
- c. 渡航人員：楽人12名、舞人4名、装束師1名、八角夫妻（アドバイザー）、鈴木宗美氏（茶の湯）、松島陽一氏（照明）、運営スタッフ2名、計23名
- d. 内 容：

【日本・ベルギー友好150周年オープニング記念式典雅楽演奏会】

日 時：平成28年1月19日（火）

場 所：エグモン宮

対 象：両国式典参加者 約300名

主 催：ベルギー王国外務省、在ベルギー日本国大使館、
日本・ベルギー150周年準備委員会

主な来賓者：日本外務省代表として、武藤容治・日本国外務副大臣が出席。ベルギー外務省からは、レインデルス・ベルギー外務大臣兼副首相が出席。他、ピータース・ベルギー労働大臣兼副首相、ファン ロンパイ・前欧州理事会議長、石井正文氏・在ベルギー日本国特命全権大使、ブラック日本ベルギー議員連盟会長、デクラーク日本ベルギー協会会長、脇日本人会会長等がご臨席。

内 容：舞楽「青海波」

- ・第一部のヴァンドゥワラ名誉教授による基調講演ののち、第二部ガラ・レセプション冒頭に当該演奏となった。
- ・その後、両国の国歌斉唱ののち、来賓挨拶、鏡開きとなった。

反 響：ベルギー政財界有識者が参集するなか、厳粛な雰囲気の中なかで青海波が演奏され、大きな反響を呼んだ。

【ブリュッセル日本人学校雅楽鑑賞会】

日 時：平成28年1月20日（水）11時45分～12時半

対 象：小学1年生～中学3年生全校生徒・教員・父兄約300名

場 所：日本人学校体育館

内 容：楽器紹介、管絃「平調音取」「越殿楽」、舞楽「甘州」

反 響：児童生徒にとって貴重な体験となりました。もちろん私たち教職員にとっても同じです。日本でも聴けなかった音色をベルギーで聴けることに感動いたしました。

（八幡教頭先生）

「日本を誇りに思いました」「一人一人が楽器に魂を込めているような迫力を感じた」「1300年も前の音楽が今もこうして人々を楽しませていることに感動した」「四人の舞人が細かい動きまで揃って舞を行っていて、感動した」等々、児童生徒よりの感想が寄せられた。

【ベルギーみやび公演】

日 時：平成28年1月23日 20時半～23時

場 所：ブリュッセル・ボザール

来場者：政財界有識者及び一般425名

主な来賓者：ルイ ミッシェル・EU議員・元副首相、ヴィヴィエ・ブリュッセル自由大学学長、ブロッチ・ベルギー国上院議員、ディエックス・パリバ銀行副頭取、パラード・在コンゴ国フランス大使、ソルベール・ソルベール会社会長、ヴァンドワラ名誉教授、アングルベール名誉教授他、政財界、学術、文化、アフリカ関係者多数。

主 催：ジョルジュ・アーサー・フォレスト財団

反 響：並外れた「みやび公演」の盛会おめでとうございます。観衆を深く感動させた魔法的瞬間でした。

演者のパフォーマンスと威厳さは卓越したものでした。洗練さと細かな配慮が表現された聖なる芸術でした。

アド氏の説明は重みと詩を舞台にもたらしめました。

私たちの友人達も美と力と奥ゆかしさに喜びと驚きと感動を感じていますと、主催者から御礼が寄せられた。

② 海外における教育機関等における雅楽演奏会

- ・ ブリュッセル日本人学校雅楽鑑賞会・雅楽体験教室（上記ベルギー公演事業として記載）

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

【事業名1：第11回明治大学父母交流会雅楽演奏会】

- 事業の趣旨：明治大学在校生の課外授業助成の一環として、雅楽演奏会を実施し、日本の伝統文化への理解を促進する。
- 日 時：平成27年11月29日（日）
- 場 所：明治大学リバティールホール
- 対 象：同校学生・保護者（120名）
- 内 容：楽器紹介、
管 絃「太食調音取」「傾盃楽急」「抜頭」
舞 楽「青海波」
- 主 催：明治大学父母交流会
感 想：今年で第11回となる明治大学連合父母会の父母交流会。当アンサンブルは4年連続での出演となり、イベントの最後を締めくくる演目として当アンサンブルが出演した。演目は、楽器紹介に続いて管絃は「太食調音取」「傾盃楽

急」「抜頭」を奏し、舞楽「青海波」を披露し好評を博した。

② 雅楽体験教室

【事業名1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実施する。

千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与することを目的とする。

b. 日時・会場：

- ・平成27年9月11日（金）鎌ヶ谷市立道野辺小学校
- ・平成27年9月17日（木）木更津市立岩根西中学校
- ・平成27年10月6日（火）我孫子市立湖北台西小学校
- ・平成27年10月14日（水）流山市立流山小学校
- ・平成27年10月21日（水）鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学
- ・平成27年12月15日（火）鴨川市立長狭中学校

c. 参加者数：

・鎌ヶ谷市立道野辺小学校（6年生）	134名
・木更津市立岩根西中学校（3年生）	60名
・我孫子市立湖北台西小学校（1～6年生）	346名
・流山市立流山小学校名（6年生）	134名
・鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校（4～6年生）	560名
・鴨川市立長狭中学校（小1～中3年生）	300名
合計	1,534名

d. 内容：

鑑賞

・ 雅楽鑑賞

管絃「楽器紹介」「平調音取」「越殿楽」

・ 舞楽鑑賞

舞楽「迦陵頻」

体験

・ 楽器体験

—楽器体験では、生徒が6グループに分かれて打物（鞆鼓・太鼓・鉦鼓）、笙、箏、龍笛、箏、琵琶の8種類の楽器を体験した。

—学校側にタイムキーパーをお願いし、回る順番を決め、各グループが10分毎に楽器を移動し、決められた時間内で、できるだけ多くの楽器に触れてもらうように配慮した。

・ 舞楽体験

—参加生徒全員と舞人とが一緒になって舞楽「迦陵頻」の出手（でるて）の舞振りを体験をした。

—2回の練習をした後、実際に曲に合わせて舞振りを行った。

e. 反響等：

1) 自国の音楽や伝統文化への関心

- ・ 雅楽の体験を通して、自国の伝統文化への目覚めや、その素晴らしさ、奥の深さを理解された。
- ・ 現在の学校教育では、洋楽が中心となっており、自国の音楽であったり、伝統文化への目覚めが必要であると感じている先生が多かった。
- ・ 指導要領でも日本古来の音楽や伝統芸能がうたわれているが、実際に邦楽を教えられる先生がいないのが現実である。

2) 楽器体験について

- ・ 今の子供たちは、何でも簡単にできると思っており、雅楽鑑賞を通して簡単に楽器が吹けると思っていた生徒が多かった。
- ・ 楽器体験を通して、その難しさを実際に理解することができたことは、子供たちにとって良い経験となった

3) 真剣に取り組むことの大切さ

- ・ 校長先生から、今の子供たちは、物事に真剣に取り組むことをしないという課題があることが説明された。
- ・ ふれあい体験事業を通して、真剣に雅楽や舞楽に取り組んでいる姿を見せてもらったことは、生徒にとってよい刺激になったと感謝の言葉をいただいた。

4) 指導する側の姿勢

- ・ 何回続けようとも、体験する子供たちは初めての体験となるので、一回一回の体験事業を大切に取り組み、内容も演奏も向上していくことが大切であると感じる。

③ 雅楽研修会

実施はなかった。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体とした PR 活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 情報誌（年二回）の作成（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以 上